

第 24 回 発行事業実態調査

一般社団法人日本資金決済業協会

回答者情報（※必ず記入してください）

整理番号	* 案内文(「第 24 回発行事業実態調査」のお願いについて)裏面に記載の整理番号をご記入ください。
貴社名	
住 所	〒
ご担当部署	
ご記入者名	
電話番号	
メールアドレス	

※ 上記の個人情報は、本調査回答に関する問合せ、「発行事業実態調査統計」の送付及び次回の本調査依頼以外の目的には利用いたしません。

※ 整理番号、貴社名欄ともに記入がない場合、回答が無効になる場合がございますので、必ずご記入ください。

調査表の記入に際してのお願い

- この調査項目は、問1から問72まであります。該当事項にご記入ください。
- 調査対象期間は、特にお断りしない限り、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの間とします。

- ◆ 調査表データ（Excel）は、協会ホームページの“トピックス”から書式をダウンロードすることができます。
- ◆ 調査表データは、ご記入後、令和4年7月31日（日）までにメールでお送りください。

メールアドレス : chousa@s-kessai.jp

- 調査内容の個別情報については、一切公表いたしません。
- 調査表の内容及び記入方法でご不明な点がございましたらお問合せください。
一般社団法人日本資金決済業協会 事務局 TEL 03-6272-9255
- 本調査は、金融庁ホームページの“免許・許可・登録を受けている業者一覧”的「前払式支払手段発行者（令和4年3月31日現在）」の皆様にお願いしております。

※令和3年度における発行状況をお聞かせください。

(該当番号に✓を入れてください。)

- 1. 発行業務及び回収業務を行っていた。
- 2. 回収業務のみを行っていた。
- 3. 発行業務及び回収業務を行っていない。

(問1) 貴社の主たる業種をお聞かせください。

※「主たる業種」とは、発行する前払式支払手段に係る業種ではなく本業の業種です。

(該当番号に○を入れてください。複数回答は不可)

「発行専門会社」とは、前払式支払手段の発行に係る業務を主たる業務とし、その収入の占める割合が全体の50%超の会社をいいます。

- 1. 発行専門会社
- 2. 百貨店
- 3. スーパー
- 4. 小売業（百貨店、スーパーを除く）
- 5. 外食業
- 6. 旅行業
- 7. ホテル・旅館業
- 8. 通信業
- 9. 運輸業
- 10. 製造業
- 11. クレジット・割賦販売業
- 12. ソフトウェア業
- 13. 不動産業
- 14. スポーツ・レジャー
- 15. 協同組合・振興組合・同業組合・商工会・商工会議所等
- 16. その他 ()

※自家型で基準日未使用残高が1千万円を超えておらず、基準日報告の対象外となっている事業者においても可能な限り記入してください。

(問2) 令和3年度中の発行額についてお聞かせください。

発行額は、令和3年9月末及び令和4年3月末の財務（支）局等へ提出した基準日報告書の第2面の発行額を合計して記入してください。

令和3年度年間発行額		
紙型		円
磁気型		円
IC型		円
サーバ型		円

(問3) 令和3年度中の回収額についてお聞かせください。

回収額は、令和3年9月末及び令和4年3月末の財務（支）局等へ提出した基準日報告書の第2面の回収額を合計して記入してください。

令和3年度年間回収額			内、有効期限到来等により回収額に計上した額
紙型		円	円
磁気型		円	円
IC型		円	円
サーバ型		円	円

(問4) 令和4年3月末現在の未使用残高についてお聞かせください。

未使用残高は、令和4年3月末の財務（支）局等へ提出した基準日報告書の第2面の基準日未使用残高を記入してください。

令和4年3月末未使用残高		
紙型		円
磁気型		円
IC型		円
サーバ型		円

(問5) 令和4年3月末における発行保証金の供託等についてお聞かせください。

発行保証金の供託等は、令和4年3月末の財務（支）局等へ提出した基準日報告書の第3面の発行保証金の供託額等の状況を記入してください。

(該当番号等に✓を入れてください。複数回答可)

1. 供託等をしている

(1) 現金による供託

(2) 債券による供託

A. 国債（振替国債を含む）

B. 政府保証債

C. 金融債

D. その他 ()

(3) 保全契約の締結先

A. 銀行、信用金庫等

B. 生命保険会社

C. 損害保険会社

D. 保証会社

(4) 信託契約の締結

2. 供託等をしていない

(1) 基準日未使用残高が供託等が必要な基準額（基準日未使用残高1000万円）

以下であるため

(2) 供託義務が免除される銀行等に該当するため

(問6) 発行する前払式支払手段の媒体等についてお聞かせください。

(回収業務のみを行っている場合もできる限りご回答ください。)

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

(注) 複数の媒体で発行している場合は、それぞれについてご回答ください。

1. 紙型

→問7へおすすめください。

2. 磁気型

→問18へおすすめください。

3. I C型

→問29へおすすめください。

4. サーバ型

→問43へおすすめください。

紙型についての質問

(問7) 発行している前払式支払手段の名称についてお聞かせください。

(注) 発行している主な前払式支払手段を3つ選んで記入してください。

(1)

(2)

(3)

(問8) 利用できる金額（支払可能金額等）と販売金額についてお聞かせください。

【この質問は、金額区分とプレミアム率の調査です。】

(注) 複数の券種を発行している場合は、主なものを6つ選んで記入してください。

1. 金額表示引換型

※「綴り券」や「回数券」は、綴られた状態として記入願います。

	利用できる金額（支払可能金額）	販売金額
(記入例)	11,000 円	10,000 円
▲上記は、11,000円分利用できる「商品券の綴り券」を10,000円で販売。		

(1)	円	円
(2)	円	円
(3)	円	円
(4)	円	円
(5)	円	円
(6)	円	円

2. 物品・数量表示引換型（券面に物品やサービスの数量を記載）

(具体例) ビール券、ガソリンの給油券、カタログギフト券、アイスクリーム券 等

	換算金額（物品やサービスを 通常に販売した場合の金額）	販売金額
(記入例)	420 円	580 円
▲上記は、アイスクリーム2個と引換えることができるギフト券を580円で販売。 アイスクリーム2個の通常販売価格は、@210円×2個 = 420円		

(1)	円	円
(2)	円	円
(3)	円	円
(4)	円	円
(5)	円	円
(6)	円	円

(問9) 購入者が前払式支払手段を購入する方法についてお聞かせください。

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

- 1. 現金
- 2. 銀行口座からの引落し・振込み
- 3. デビットカード
- 4. クレジットカード
- 5. 他の前払式支払手段（有償のポイント等を含む）
- 6. 収納代行
- 7. 無償ポイントとの交換
- 8. その他 ()

(問10) 購入者への販売方法についてお聞かせください。

(注) 割合は、小数点第1位まで（小数点第2位を四捨五入）を記入願います。過去における経験値等による推計でも結構です。（該当番号に✓を入れてください。複数回答可）

【直接販売】

- 1. 店舗、法人営業等 _____ %
- 2. インターネット _____ %

【間接販売（代理店販売等）】

- 3. 委託販売 _____ %
 - 4. 売切り（買取り）販売 _____ %
- 合計 _____ %

(問11) 購入者が貴社の前払式支払手段を購入する事由についてお聞かせください。

(注) 割合は、小数点第1位まで（小数点第2位を四捨五入）を記入願います。過去における経験値等による推計でも結構です。（該当番号に✓を入れてください。複数回答可）

- 1. 購入者（個人）自身で使う _____ %
 - 2. 購入者（個人）の贈答用 _____ %
 - 3. 法人の福利厚生として使う _____ %
 - 4. 法人のノベルティ・販促用 _____ %
 - 5. その他 () _____ %
- 合計 _____ %

(問12) 取扱加盟店との決済についてお聞かせください。

【第三者型発行者のみご回答ください。】（該当番号に✓を入れてください。複数回答可）

1. 加盟店との決済回数について

- (1) 毎日
- (2) 隨時又は都度
- (3) 週1回
- (4) 月3回
- (5) 月2回
- (6) 月1回
- (7) その他 ()

2. 加盟店との決済手数料について

- (1) 1%未満
- (2) 1%以上～3%未満
- (3) 3%以上～5%未満
- (4) 5%以上～7%未満
- (5) 7%以上～10%未満
- (6) 10%以上
- (7) 手数料なし

3. 加盟店との契約形態について

- (1) 直接加盟店と契約
- (2) 包括加盟店方式で契約
- (3) 加盟店契約会社（アクワイアラ）との契約（国際ブランド加盟店）
- (4) その他（ ）

(問13) 前払式支払手段の使用期間（使用期限）についてお聞かせください。

(該当番号等に✓を入れてください。複数回答可)

(注) 最終利用日を起算日として使用期限を設定している場合は、最終利用日からの使用期限になります。

(例) 使用期限を最終利用日から5年としている場合は、D. 5年になります。

- (1) 使用期間（使用期限）はない
- (2) 使用期間（使用期限）がある
 - A. 1年
 - B. 2年
 - C. 3年
 - D. 5年
 - E. 10年
 - F. 年月指定
 - G. その他（ ）

(問14) 1. 令和3年度中に前払式支払手段の不正利用がありましたか。

(該当番号に✓を入れてください。)

(注) 未遂・既遂に問わらずお答えください。「未遂」とは、不正利用が発見されたが、利用されなかったものをいいます。「既遂」とは、不正利用が生じたものをいいます。

- (1) あり
- (2) なし

2. 以下は前項1. で「(1) あり」を選択した方に伺います。

不正利用の具体的な手口についてお聞かせください。

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

不正利用の手口

- 1. 偽造された
- 2. 有効期限が改ざん・有効期限切れ券が故意に使用された
- 3. 使用済み券が使用された
- 4. 換金目的につり銭を強要された
- 5. 架空請求等の詐欺
- 6. 盗難された券が使用された
- 7. フリマサイトでID・番号を読み取り使用された
- 8. その他（ ）

(問15) 実施している不正利用防止策についてお聞かせください。

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

- 1. ホログラムを採用（ストライプホロ、スレッドホロ、スポットホロ 等）
- 2. 特殊用紙を採用（透かし用紙、パールストライプコート用紙、凹版／エンボス潜像等）
- 3. 特殊インキを採用（蛍光インキ、疑似透かし、色彩可変インキ 等）
- 4. 特殊印刷を採用（地紋、マイクロ文字、コピー牽制印刷 等）
- 5. 可変番号を採用（OCR、MICR、バーコード 等）
- 6. 定期的なデザイン（セキュリティ）変更
- 7. 店舗での見極め方法の指導強化、不正利用事例等の従業員教育
- 8. その他 ()
- 9. 何も実施していない

(問16) 利用者からの苦情（トラブルやクレーム等）の有無と主な内容をお聞かせください。

(該当番号等に✓を入れてください。複数回答可)

- (1) 苦情はない
- (2) 苦情はある
 - A. 有効期限
 - B. 払戻し（お釣りを含む）や換金
 - C. 利用できる店舗・商品等
 - D. コールセンターや問合せ窓口の対応
 - E. 不正利用
 - F. その他 ()

(問17) 利用者からの問い合わせ・苦情（トラブルやクレーム等）の受付方法をお聞かせください。

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

- 1. 電話
- 2. メール、問い合わせフォーム
- 3. チャット等
- 4. その他 ()

以上で紙型の質問は終わりました。

- ・ 問6で「**2. 磁気型**」にも✓をされた方は、**問18**へおすすみください。
- ・ 問6で「**3. IC型**」にも✓をされた方は、**問29**へおすすみください。
- ・ 問6で「**4. サーバ型**」にも✓をされた方は、**問43**へおすすみください。
- ・ それ以外の方は、**問70**へおすすみください。

磁気型についての質問

(問18) 発行している前払式支払手段の名称についてお聞かせください。

(注) 発行している主な前払式支払手段を3つ選んで記入してください。

(1)

(2)

(3)

(問19) 利用できる金額(支払可能金額等)と販売金額についてお聞かせください。

【この質問は、金額区分とプレミアム率の調査です。】

(注) 複数の券種を発行している場合は、主なものを6つ選んで記入してください。

1. 金額表示減算型(使い切り型)

※金額を度数やポイント、時間等の単位に換算しているものを含みます。

利用できる金額(支払可能金額)		販売金額
(記入例)	11,000 円	10,000 円
▲上記は、11,000円分利用できる「プリペイドカード」を10,000円で販売。		
(1)	円	円
(2)	円	円
(3)	円	円
(4)	円	円
(5)	円	円
(6)	円	円

2. 金額表示・加減算型(リチャージ型)

入金上限金額	1回あたりの入金上限金額	入金上限金額	1回あたりの入金上限金額		
(1)	円	円	(4)	円	円
(2)	円	円	(5)	円	円
(3)	円	円	(6)	円	円

プレミアムやボーナスバリューを付けている場合

入金額		利用できる金額
(記入例)	10,000 円	10,500 円
▲上記は、10,000円チャージをすると500円のプレミアムが付き10,500円分利用できる。		
(1)	円	円
(2)	円	円
(3)	円	円
(4)	円	円
(5)	円	円
(6)	円	円

(問20) 購入者が前払式支払手段を購入する方法についてお聞かせください。

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

- 1. 現金
- 2. 銀行口座からの引落し・振込み
- 3. デビットカード
- 4. クレジットカード
- 5. 他の前払式支払手段（有償のポイント等を含む）
- 6. 収納代行
- 7. 無償ポイントとの交換
- 8. その他 ()

(問21) 購入者への販売方法についてお聞かせください。

(注) 割合は、小数点第1位まで（小数点第2位を四捨五入）を記入願います。過去における経験値等による推計でも結構です。（該当番号に✓を入れてください。複数回答可）

【直接販売】

- 1. 店舗、法人営業等 _____ %
- 2. インターネット _____ %

【間接販売（代理店販売等）】

- 3. 委託販売 _____ %
 - 4. 売切り（買取り）販売 _____ %
- 合計 _____ %

(問22) 購入者が貴社の前払式支払手段を購入する事由についてお聞かせください。

(注) 割合は、小数点第1位まで（小数点第2位を四捨五入）を記入願います。過去における経験値等による推計でも結構です。（該当番号に✓を入れてください。複数回答可）

- 1. 購入者（個人）自身で使う _____ %
 - 2. 購入者（個人）の贈答用 _____ %
 - 3. 法人の福利厚生として使う _____ %
 - 4. 法人のノベルティ・販促用 _____ %
 - 5. その他 () _____ %
- 合計 _____ %

(問23) 取扱加盟店との決済についてお聞かせください。

【第三者型発行者のみご回答ください。】（該当番号に✓を入れてください。複数回答可）

1. 加盟店との決済回数について

- (1) 毎日
- (2) 隨時又は都度
- (3) 週1回
- (4) 月3回
- (5) 月2回
- (6) 月1回
- (7) その他 ()

2. 加盟店との決済手数料について

- (1) 1%未満
- (2) 1%以上～3%未満
- (3) 3%以上～5%未満
- (4) 5%以上～7%未満
- (5) 7%以上～10%未満
- (6) 10%以上
- (7) 手数料なし

3. 加盟店との契約形態について

- (1) 直接加盟店と契約
- (2) 包括加盟店方式で契約
- (3) 加盟店契約会社（アクワイアラ）との契約（国際ブランドプリペイドカード）
- (4) その他（ ）

(問24) 前払式支払手段の使用期間（使用期限）についてお聞かせください。

(該当番号等に✓を入れてください。複数回答可)

(注) 最終利用日を起算日として使用期限を設定している場合は、最終利用日からの使用期限になります。

(例) 使用期限を最終利用日から5年としている場合は、D. 5年になります。

- (1) 使用期間（使用期限）はない

- (2) 使用期間（使用期限）がある

- A. 1年
- B. 2年
- C. 3年
- D. 5年
- E. 10年
- F. 年月指定
- G. その他（ ）

(問25) 1. 令和3年度中に前払式支払手段の不正利用がありましたか。

(該当番号に✓を入れてください。)

(注) 未遂・既遂に関わらずお答えください。「未遂」とは、不正利用が発見されたが、利用されなかったものをいいます。「既遂」とは、不正利用が生じたものをいいます。

- (1) あり

- (2) なし

2. 以下は前項1. で「(1) あり」を選択した方に伺います。

不正利用の具体的な手口についてお聞かせください。

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

不正利用の手口

- 1. 偽造された
- 2. 有効期限が改ざん・有効期限切れ券が故意に使用された
- 3. 使用済み券が使用された
- 4. 換金目的につり銭を強要された
- 5. 架空請求等の詐欺
- 6. 盗難された券が使用された
- 7. フリマサイトでID・番号を読み取り使用された
- 8. その他（ ）

(問26) 実施している不正利用防止策についてお聞かせください。

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

- 1. リーダーの盗難防止策
- 2. リーダーによる不正カードの識別向上
- 3. カードのデータのコピー防止、暗号化
- 4. ホログラム加工等カード面への対策
- 5. その他 ()
- 6. 何も実施していない

(問27) 利用者からの苦情（トラブルやクレーム等）の有無と主な内容をお聞かせください。（該当番号等に✓を入れてください。複数回答可）

- (1) 苦情はない
- (2) 苦情はある
 - A. 有効期限
 - B. 払戻し（お釣りを含む）や換金
 - C. 利用できる店舗・商品等
 - D. 残高の確認やその方法
 - E. 利用履歴
 - F. コールセンターや問合せ窓口の対応
 - G. システム障害
 - H. 不正利用
 - I. その他 ()

(問28) 利用者からの問い合わせ・苦情（トラブルやクレーム等）の受付方法をお聞かせください。

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

- 1. 電話
- 2. メール、問い合わせフォーム
- 3. チャット等
- 4. その他 ()

以上で磁気型の質問は終わりました。

- ・問6で「**3. IC型**」にも✓をされた方は、**問29**へおすすめください。
- ・問6で「**4. サーバ型**」にも✓をされた方は、**問43**へおすすめください。
- ・それ以外の方は、**問70**へおすすめください。

IC型についての質問

(問29) 発行している前払式支払手段の名称についてお聞かせください。

(注) 発行している主な前払式支払手段を3つ選んで記入してください。

(1)

(2)

(3)

(問30) 利用できる金額（支払可能金額等）と販売金額についてお聞かせください。

【この質問は、金額区分とプレミアム率の調査です。】

(注) 複数の券種を発行している場合は、主なものを6つ選んで記入してください。

※金額を度数やポイント等の単位に換算しているものを含みます。

1. 金額表示・減算型（使い切り型）

利用できる金額（支払可能金額）	販売金額
(記入例) 5,000 円	5,500 円
▲上記は、5,000円分利用できるギフトカードを5,500円で販売している。	

(1)	円	円
(2)	円	円
(3)	円	円
(4)	円	円
(5)	円	円
(6)	円	円

2. 金額表示・加減算型（リチャージ型）

入金上限金額	1回あたりの入金上限金額
(1)	円
(2)	円
(3)	円
(4)	円
(5)	円
(6)	円

プレミアムやボーナスバリューを付けている場合

入金額	利用できる金額
(記入例) 10,000 円	10,500 円

▲上記は、10,000円チャージをすると500円のプレミアムが付き10,500円分利用できる。

(1)	円	円
(2)	円	円
(3)	円	円
(4)	円	円
(5)	円	円
(6)	円	円

3. 残高を移転する機能について

発行者が提供する仕組みの中で前払式支払手段の保有者の指図を受けて未使用残高を他の利用者へ移転することができます。

(該当番号等に✓を入れてください。複数回答可)

- (1) 移転できる仕組みがある
一回当たりの移転可能上限金額は、
- A. 10,000円未満
- B. 10,000円以上 ~ 30,000円未満
- C. 30,000円以上 ~ 50,000円未満
- D. 50,000円以上 ~ 100,000円未満
- E. 100,000円以上..... 上限() 円
- (2) 移転できる仕組みはない

(問31) 購入者が前払式支払手段を購入（チャージ）する方法についてお聞かせください。

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

1. 現金（ATMで現金を入金するものも含む）
2. 銀行口座からの都度の振込み（ATMでの銀行口座振り込み等）
3. 登録した銀行口座からの引落し（口座連携サービス、オートチャージ等）
4. デビットカード
5. クレジットカードからの都度のチャージ
6. 登録したクレジットカードからの引落し（クレカ連携サービス、オートチャージ等）
7. 他の前払式支払手段（有償のポイント等を含む）
8. 収納代行（MMK端末等のコンビニ払い、プラットフォーム決済、携帯キャリア決済）
9. 無償ポイントとの交換
10. その他 ()

(問32) 購入者への販売方法についてお聞かせください。

(注) 割合は、小数点第1位まで（小数点第2位を四捨五入）を記入願います。過去における経験値等による推計でも結構です。（該当番号に✓を入れてください。複数回答可）

【直接販売】

1. 店舗、法人営業等 _____ %

2. インターネット _____ %

【間接販売（代理店販売等）】

3. 委託販売 _____ %

4. 売切り（買取り）販売 _____ %

合計 _____ %

(問33) 購入者が貴社の前払式支払手段を購入する事由についてお聞かせください。

(注) 割合は、小数点第1位まで（小数点第2位を四捨五入）を記入願います。過去における経験値等による推計でも結構です。（該当番号に✓を入れてください。複数回答可）

1. 購入者（個人）自身で使う _____ %

2. 購入者（個人）の贈答用 _____ %

3. 法人の福利厚生として使う _____ %

4. 法人のノベルティ・販促用 _____ %

5. その他（ ） _____ %

合計 _____ %

(問34) 取扱加盟店との決済についてお聞かせください。

【第三者型発行者のみご回答ください。】（該当番号に✓を入れてください。複数回答可）

1. 加盟店との決済回数について

(1) 毎日 (2) 隨時又は都度 (3) 週1回 (4) 月3回
 (5) 月2回 (6) 月1回 (7) その他（ ）

2. 加盟店との決済手数料について

(1) 1%未満 (2) 1%以上～3%未満 (3) 3%以上～5%未満
 (4) 5%以上～7%未満 (5) 7%以上～10%未満 (6) 10%以上
 (7) 手数料なし

3. 加盟店との契約形態について

(1) 直接加盟店と契約
 (2) 包括加盟店方式で契約
 (3) 加盟店契約会社（アクワイアラ）との契約（国際ブランドプリペイドカード）
 (4) その他（ ）

(問35) 前払式支払手段の使用期間（使用期限）についてお聞かせください。
(該当番号等に✓を入れてください。複数回答可)
(注) 最終利用日を起算日として使用期限を設定している場合は、最終利用日からの使用期限になります。
(例) 使用期限を最終利用日から5年としている場合は、D. 5年になります。

- (1) 使用期間（使用期限）はない
 (2) 使用期間（使用期限）がある
- A. 1年
 B. 2年
 C. 3年
 D. 5年
 E. 10年
 F. 年月指定
 G. その他 ()

(問36) 1. 前払式支払手段のプリペイド機能以外の機能についてお聞かせください。
(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

- (1) プリペイド以外の機能はない
 (2) プリペイド以外の機能がある
2. 前項1. で「(2) プリペイド以外の機能がある」を選択した方に伺います。
プリペイド以外の機能をお聞かせください。 (該当番号に✓を入れてください。複数回答可)
1. ポイントカード 2. クレジットカード
 3. ID（身分証明書） 4. 入退出管理
 5. キャッシュカード 6. デビットカード
 7. 会員証
 8. その他 ()

(問37) 決済時の前払式支払手段の利用方法についてお聞かせください。
(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

1. 店舗でICカードを読み取る
 2. 店舗でスマートフォンを読み取る
 3. 店舗で指紋等（生体認証）を読み取る
 4. 店舗でウェアラブルデバイス（腕時計やゴーグル等）を読み取る
 5. その他 ()

(問38) 1. 令和3年度中に前払式支払手段の不正利用がありましたか。
(該当番号に✓を入れてください。)
(注) 未遂・既遂に関わらずお答えください。「未遂」とは、不正利用が発見されたが、
利用されなかったものをいいます。「既遂」とは、不正利用が生じたものをいいます。

- (1) あり
 (2) なし

2. 以下は前項1. で「(1) あり」を選択した方に伺います。

不正利用の具体的な手口についてお聞かせください。

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

不正利用の手口

- 1. 偽造された
- 2. 他人のクレジットカード番号の盗用
- 3. 他人のカード番号の盗用
- 4. なりすましによる不正ログイン
- 5. 架空請求等の詐欺
- 6. 利用者以外の口座情報等をもとに当該口座の預金者の名義で不正チャージ
- 7. 悪質加盟店によるプリペイドカードでの支払い要求
- 8. その他 ()

(問39) 1. 前払式支払手段の利用者への本人確認状況についてお聞かせください。

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

(注) 本人確認を行うことでチャージの上限金額が増えるものも含みます。

(注) 本人確認を行うことで、資金移動業のアカウントに残高が移行するものは含みません。

- (1) 利用者への本人確認を行っている
- (2) 利用者への本人確認は行わない

2. 以下は前項1. で「(1) 利用者への本人確認を行っている」を選択した方に伺います。

本人確認の具体的な方法についてお聞かせください。

- 1. eKYC
- 2. クレジットカード・銀行口座連携時に、連携先が本人確認していることを確認
- 3. その他 ()

(問40) 本人確認以外に実施している不正利用防止策についてお聞かせください。

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

- 1. 高額券種を発行しない、高額の入金上限を設定しない
- 2. 1回あたり、日・月単位での入金額、利用額の制限
- 3. オートチャージの制限
- 4. 複数アカウントの制限
- 5. 転売・譲渡を禁止しホームページ等で周知
- 6. オンラインによるカード個別チェック（未使用金額の確認）
- 7. (高額取引の場合、) 利用時の本人認証パスワードの導入
- 8. 利用時のメール・SMS通知
- 9. 利用状況・店舗のモニタリング
- 10. 店舗での見極め方法の指導強化、不正利用事例等の従業員教育
- 11. その他 ()
- 12. 何も実施していない

(問41) 利用者からの苦情（トラブルやクレーム等）の有無と主な内容及び対処事例をお聞かせください。（該当番号等に✓を入れてください。複数回答可）

- (1) 苦情はない
- (2) 苦情はある
 - A. 有効期限
 - B. 払戻し（お釣りを含む）や換金
 - C. 利用できる店舗・商品等
 - D. 残高の確認やその方法
 - E. 利用履歴
 - F. コールセンターや問合せ窓口の対応
 - G. システム障害
 - H. 不正利用
 - I. その他 ()

(問42) 利用者からの問い合わせ・苦情（トラブルやクレーム等）の受付方法をお聞かせください。（該当番号に✓を入れてください。複数回答可）

- 1. 電話
- 2. メール、問い合わせフォーム
- 3. チャット等
- 4. その他 ()

以上でIC型の質問は終わりました。

- ・問6で「**4. サーバ型**」にも✓をされた方は、**問43**へおすすめください。
- ・それ以外の方は、**問70**へおすすめください。

サーバ型についての質問

(問43) サーバ型前払式支払手段のタイプをお聞かせください。

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

例えば、一つの前払式支払手段でリアル店舗及びオンラインの両方で利用できる場合は、

下記の3.に✓を入れ、【リアル店舗で利用】と【オンラインで利用】の両方にお答えください。

- | | |
|---|--------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. リアル店舗で利用できる。 | →問44から問57をお答えください。 |
| <input type="checkbox"/> 2. オンラインで利用できる。 | →問58から問69をお答えください。 |
| <input type="checkbox"/> 3. リアル店舗とオンラインの両方で利用できる。 | →問44から問69をお答えください。 |

【リアル店舗で利用】問44～問57

(問44) 発行している前払式支払手段の名称についてお聞かせください。

(注) 発行している主な前払式支払手段を3つ選んで記入してください。

(1)

(2)

(3)

(問45) 利用できる金額（支払可能金額等）と販売金額についてお聞かせください。

【この質問は、金額区分とプレミアム率の調査です。】

(注) 複数の券種を発行している場合は、主なものを6つ選んで記入してください。

※金額を度数やポイント等の単位に換算しているものを含みます。

1. 金額表示・減算型（使い切り型）

利用できる金額（支払可能金額）	販売金額
(記入例) 5,000 円	5,500 円
▲上記は、5,000円分利用できるギフトカードを5,500円で販売している。	
(1) 円	円
(2) 円	円
(3) 円	円
(4) 円	円
(5) 円	円
(6) 円	円

2. 金額表示・加減算型（リチャージ型）

入金上限金額	1回あたりの入金上限金額
(1) 円	円
(2) 円	円
(3) 円	円
(4) 円	円
(5) 円	円
(6) 円	円

プレミアムやボーナスバリューを付けている場合

入金額	利用できる金額
(記入例) 10,000 円	10,500 円
▲上記は、10,000円チャージをすると500円のプレミアムが付き10,500円分利用できる。	
(1) _____ 円	_____ 円
(2) _____ 円	_____ 円
(3) _____ 円	_____ 円
(4) _____ 円	_____ 円
(5) _____ 円	_____ 円
(6) _____ 円	_____ 円

3. 物品・数量表示引換型（券面に物品やサービスの数量を記載）

(具体例) カタログギフトカード 等

換算金額（物品やサービスを通常に販売した場合の金額）	販売金額
(記入例) 5,400 円	5,400 円
▲上記は、カタログ掲載の商品等と引換えることができるカタログギフトカードを5,400円で販売。通常販売価格についても5,400円。	
(1) _____ 円	_____ 円
(2) _____ 円	_____ 円
(3) _____ 円	_____ 円
(4) _____ 円	_____ 円
(5) _____ 円	_____ 円
(6) _____ 円	_____ 円

4. 残高を移転する機能について

発行者が提供する仕組みの中で前払式支払手段の保有者の指図を受けて未使用残高を他の利用者へ移転することができますか。

(該当番号等に✓を入れてください。複数回答可)

(1) 移転できる仕組みがある

一回当たりの移転可能上限金額は、

- A. 10,000円未満
- B. 10,000円以上 ~ 30,000円未満
- C. 30,000円以上 ~ 50,000円未満
- D. 50,000円以上 ~ 100,000円未満
- E. 100,000円以上..... 上限() 円

(2) 移転できる仕組みはない

(問46) 購入者が前払式支払手段を購入（チャージ）する方法についてお聞かせください。
(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

- 1. 現金（ATMで現金を入金するものも含む）
- 2. 銀行口座からの都度の振込み（ATMでの銀行口座振り込み）
- 3. 登録した銀行口座からの引落し（口座連携サービス、オートチャージ等）
- 4. デビットカード
- 5. クレジットカードからの都度のチャージ
- 6. 登録したクレジットカードからの引落し（クレカ連携サービス、オートチャージ等）
- 7. 他の前払式支払手段（有償のポイント等を含む）
- 8. 収納代行（MMK端末等のコンビニ払い、プラットフォーム決済、携帯キャリア決済）
- 9. 無償ポイントとの交換
- 10. その他 ()

(問47) 購入者への販売方法についてお聞かせください。

(注) 割合は、小数点第1位まで（小数点第2位を四捨五入）を記入願います。過去における経験値等による推計でも結構です。（該当番号に✓を入れてください。複数回答可）

【直接販売】

- 1. 店舗、法人営業等 _____ %
- 2. インターネット _____ %

【間接販売（代理店販売等）】

- 3. 委託販売 _____ %
 - 4. 売切り（買取り）販売 _____ %
- 合計 _____ %

(問48) 購入者が貴社の前払式支払手段を購入する事由についてお聞かせください。

(注) 割合は、小数点第1位まで（小数点第2位を四捨五入）を記入願います。過去における経験値等による推計でも結構です。（該当番号に✓を入れてください。複数回答可）

- 1. 購入者（個人）自身で使う _____ %
 - 2. 購入者（個人）の贈答用 _____ %
 - 3. 法人の福利厚生として使う _____ %
 - 4. 法人のノベルティ・販促用 _____ %
 - 5. その他 () _____ %
- 合計 _____ %

(問49) 取扱加盟店との決済についてお聞かせください。

【第三者型発行者のみご回答ください。】 (該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

1. 加盟店との決済回数について

- (1) 毎日 (2) 隨時又は都度 (3) 週1回 (4) 月3回
 (5) 月2回 (6) 月1回 (7) その他 ()

2. 加盟店との決済手数料について

- (1) 1%未満 (2) 1%以上～3%未満 (3) 3%以上～5%未満
 (4) 5%以上～7%未満 (5) 7%以上～10%未満 (6) 10%以上
 (7) 手数料なし

3. 加盟店との契約形態について

- (1) 直接加盟店と契約
 (2) 包括加盟店方式で契約
 (3) 加盟店契約会社（アクワイアラ）との契約（国際ブランドプリペイドカード）
 (4) その他 ()

(問50) 前払式支払手段の使用期間（使用期限）についてお聞かせください。

(該当番号等に✓を入れてください。複数回答可)

(注) 最終利用日を起算日として使用期限を設定している場合は、最終利用日からの使用期限になります。

(例) 使用期限を最終利用日から5年としている場合は、D. 5年になります。

- (1) 使用期間（使用期限）はない
 (2) 使用期間（使用期限）がある
 A. 1年
 B. 2年
 C. 3年
 D. 5年
 E. 10年
 F. 年月指定
 G. その他 ()

(問51) 1. 前払式支払手段のプリペイド機能以外の機能についてお聞かせください。

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

- (1) プリペイド以外の機能はない
 (2) プリペイド以外の機能がある

2. 前項1. で「(2) プリペイド以外の機能がある」を選択した方に伺います。
プリペイド以外の機能をお聞かせください。(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

- 1. ポイントカード
- 2. クレジットカード
- 3. ID(身分証明書)
- 4. 入退出管理
- 5. キャッシュカード
- 6. デビットカード
- 7. 会員証
- 8. その他 ()

(問52) 決済時の前払式支払手段の利用方法についてお聞かせください。
(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

- 1. 店舗で磁気ストライプの番号を読み取る
- 2. 店舗でカードのバーコードを読み取る
- 3. 店舗でICカードを読み取る
- 4. 店舗でスマートフォンのアプリのQRコードやバーコードを読み取る
- 5. 利用者が店舗のQRコードやバーコードをスマートフォンで読み取る
- 6. 店舗で指紋等(生体認証)を読み取る
- 7. 店舗でウェアラブルデバイス(腕時計やゴーグル等)を読み取る
- 8. その他 ()

(問53) 1. 令和3年度中に前払式支払手段の不正利用がありましたか。
(該当番号に✓を入れてください。)
(注) 未遂・既遂に関わらずお答えください。「未遂」とは、不正利用が発見されたが、
利用されなかったものをいいます。「既遂」とは、不正利用が生じたものをいいます。

- (1) あり
- (2) なし

2. 以下は前項1. で「(1) あり」を選択した方に伺います。

不正利用の具体的な手口についてお聞かせください。

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

不正利用の手口

- 1. 偽造された
- 2. 他人のクレジットカード番号の盗用
- 3. 他人のカード番号の盗用
- 4. なりすましによる不正ログイン
- 5. 架空請求等の詐欺
- 6. SNS等のアカウントを乗っ取りなりすまし、プリペイドカード購入を指示し、詐取
- 7. 利用者以外の口座情報等をもとに当該口座の預金者の名義で不正チャージ
- 8. 悪質加盟店によるプリペイドカードでの支払い要求
- 9. その他 ()

(問54) 1. 前払式支払手段の利用者への本人確認状況についてお聞かせください。

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

(注) 本人確認を行うことでチャージの上限金額が増えるものも含みます。

(注) 本人確認を行うことで、資金移動業のアカウントに残高が移行するものは含みません。

- (1) 利用者への本人確認を行っている
- (2) 利用者への本人確認は行わない

2. 以下は前項1. で「(1) 利用者への本人確認を行っている」を選択した方に伺います。

本人確認の具体的な方法についてお聞かせください。

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

- 1. eKYC
- 2. クレジットカード・銀行口座連携時に、連携先が本人確認していることを確認
- 3. その他 ()

3. 以下は前項1. で「(1) 利用者への本人確認を行っている」を選択した方に伺います。

本人確認を行う場面についてお聞かせください。

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

- 1. カード(バーチャルカード含む)を発行する際
- 2. アカウントを開設する際
- 3. 残高(ギフトID等を含む)を受取る際
- 4. 利用可能金額を引き上げる際
- 5. その他

(問55) 実施している不正利用防止策についてお聞かせください。

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

- 1. 高額券種を発行しない、高額の入金上限を設定しない
- 2. 1回あたり、日・月単位での入金額、利用額の制限
- 3. 複数アカウントの制限
- 4. 転売・譲渡を禁止しホームページ等で周知
- 5. 利用時のワンタイムパスワードの導入
- 6. (スマホ決済の場合、) 時限ワンタイムバーコード・QRコードを使用
- 7. ユーザーへの利用ロック機能提供
- 8. (高額取引の場合、) 利用時の本人認証パスワードの導入
- 9. 利用時のメール・SMS通知
- 10. 利用状況・店舗のモニタリング
- 11. 店舗での見極め方法の指導強化、不正利用事例等の従業員教育
- 12. その他 ()
- 13. 何も実施していない

(問56) 利用者からの苦情（トラブルやクレーム等）の有無と主な内容及び対処事例をお聞かせください。（該当番号等に✓を入れてください。複数回答可）

- (1) 苦情はない
- (2) 苦情はある
 - A. 有効期限
 - B. 払戻し（お釣りを含む）や換金
 - C. 利用できる店舗・商品等
 - D. 残高の確認やその方法
 - E. 利用履歴
 - F. コールセンターや問合せ窓口の対応
 - G. システム障害
 - H. 不正利用
 - I. その他 ()

(問57) 利用者からの問い合わせ・苦情（トラブルやクレーム等）の受付方法をお聞かせください。

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

- 1. 電話
- 2. メール、問い合わせフォーム
- 3. チャット等
- 4. その他 ()

- ・問39で「**2. オンラインで利用できる。**」「**3. リアル店舗とオンラインの両方で利用できる**」にも✓をされた方は、**問58**へおすすめください。
- ・それ以外の方は、**問70**へおすすめください。

【オンラインで利用】問58～問69

(問58) 発行している前払式支払手段の名称についてお聞かせください。

(注) 発行している主な前払式支払手段を3つ選んで記入してください。

(1)

(2)

(3)

(問59) 利用できる金額（支払可能金額等）と販売金額についてお聞かせください。

【この質問は、金額区分とプレミアム率の調査です。】

(注) 複数の券種を発行している場合は、主なものを6つ選んで記入してください。

※金額を度数やポイント等の単位に換算しているものを含みます。

1. 金額表示・減算型（使い切り型）

利用できる金額（支払可能金額）	販売金額
(記入例) 5,000 円	5,500 円

▲上記は、5,000円分利用できるギフトコードを5,500円で販売している。

(1)

円

円

(2)

円

円

(3)

円

円

(4)

円

円

(5)

円

円

(6)

円

円

2. 金額表示・加減算型（リチャージ型）

入金上限金額	1回あたりの入金上限金額	入金上限金額	1回あたりの入金上限金額
(1) _____ 円	_____ 円	(4) _____ 円	_____ 円
(2) _____ 円	_____ 円	(5) _____ 円	_____ 円
(3) _____ 円	_____ 円	(6) _____ 円	_____ 円

2-1. プレミアムやボーナスバリューを付けている場合

入金額	利用できる金額
(記入例) 10,000 円	10,500 円

▲上記は、10,000円チャージをすると500円のプレミアムが付き10,500円分利用できる。

(1)

円

円

(2)

円

円

(3)

円

円

(4)

円

円

(5)

円

円

(6)

円

円

2-2. バリューを合算する機能について

ウォレットに複数の前払式支払手段のバリューをまとめめる機能はありますか。

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

(1) 機能はある

蓄積上限金額は、

- A. 10,000円未満
- B. 10,000円以上 ~ 30,000円未満
- C. 30,000円以上 ~ 50,000円未満
- D. 50,000円以上 ~ 100,000円未満
- E. 100,000円以上 ~ 500,000円未満
- F. 500,000円以上 ~ 1,000,000円未満
- G. 1,000,000円以上 ~ (上限の制限はある)
- H. 無制限

(2) 機能はない

3. 残高を移転する機能について

発行者が提供する仕組みの中で前払式支払手段の保有者の指図を受けて未使用残高を他の利用者へ移転することができますか。

(該当番号等に✓を入れてください。複数回答可)

(1) 移転できる仕組みがある

一回当たりの移転可能上限金額は、

- A. 10,000円未満
- B. 10,000円以上 ~ 30,000円未満
- C. 30,000円以上 ~ 50,000円未満
- D. 50,000円以上 ~ 100,000円未満
- E. 100,000円以上 上限()円

(2) 移転できる仕組みはない

(問60) 購入者が前払式支払手段を購入（チャージ）する方法についてお聞かせください。

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

1. 現金（ATMで現金を入金するものも含む）

2. 銀行口座からの都度の振込み（ATMでの銀行口座振り込み）

3. 登録した銀行口座からの引落し（口座連携サービス、オートチャージ等）

4. デビットカード

5. クレジットカードからの都度のチャージ

6. 登録したクレジットカードからの引落し（クレカ連携サービス、オートチャージ等）

7. 他の前払式支払手段（有償のポイント等を含む）

8. 収納代行（MMK端末等のコンビニ払い、プラットフォーム決済、携帯キャリア決済）

9. 無償ポイントとの交換

10. その他()

(問61) 購入者への販売方法についてお聞かせください。

(注) 割合は、小数点第1位まで（小数点第2位を四捨五入）を記入願います。過去における経験値等による推計でも結構です。（該当番号に✓を入れてください。複数回答可）

【直接販売】

1. 店舗、法人営業等 %

2. インターネット %

【間接販売（代理店販売等）】

3. 委託販売 %

4. 売切り（買取り）販売 %

合計 %

(問62) 購入者が貴社の前払式支払手段を購入する事由についてお聞かせください。

(注) 割合は、小数点第1位まで（小数点第2位を四捨五入）を記入願います。過去における経験値等による推計でも結構です。（該当番号に✓を入れてください。複数回答可）

1. 購入者（個人）自身で使う %

2. 購入者（個人）の贈答用 %

3. 法人の福利厚生として使う %

4. 法人のノベルティ・販促用 %

5. その他 () %

合計 %

(問63) 取扱加盟店との決済についてお聞かせください。

【第三者型発行者のみご回答ください。】（該当番号に✓を入れてください。複数回答可）

1. 加盟店との決済回数について

(1) 毎日 (2) 隨時又は都度 (3) 週1回 (4) 月3回
 (5) 月2回 (6) 月1回 (7) その他 ()

2. 加盟店との決済手数料について

(1) 1%未満 (2) 1%以上～3%未満 (3) 3%以上～5%未満
 (4) 5%以上～7%未満 (5) 7%以上～10%未満 (6) 10%以上
 (7) 手数料なし

3. 加盟店との契約形態について

(1) 直接加盟店と契約
 (2) 包括加盟店方式で契約
 (3) 加盟店契約会社（アクワイアラ）との契約（国際ブランドプリペイドカード）
 (4) その他 ()

(問64) 前払式支払手段の使用期間（使用期限）についてお聞かせください。

（該当番号等に✓を入れてください。複数回答可）

（注）最終利用日を起算日として使用期限を設定している場合は、最終利用日からの使用期限になります。

（例）使用期限を最終利用日から5年としている場合は、D. 5年になります。

(1) 使用期間（使用期限）はない

(2) 使用期間（使用期限）がある

A. 1年

B. 2年

C. 3年

D. 5年

E. 10年

F. 年月指定

G. その他 ()

(問65) 1. 令和3年度中に前払式支払手段の不正利用がありましたか。

（該当番号に✓を入れてください。）

（注）未遂・既遂に関わらずお答えください。「未遂」とは、不正利用が発見されたが、利用されなかったものをいいます。「既遂」とは、不正利用が生じたものをいいます。

(1) あり

(2) なし

2. 以下は前項1. で「(1) あり」を選択した方に伺います。

不正利用の具体的な手口についてお聞かせください。

（該当番号に✓を入れてください。複数回答可）

不正利用の手口

1. 偽造された

2. 他人のクレジットカード番号の盗用

3. 他人のカード番号の盗用

4. なりすましによる不正ログイン

5. 架空請求等の詐欺

6. SNS等のアカウントを乗っ取りなりすまし、プリペイドカード購入を指示し、詐取

7. 利用者以外の口座情報等をもとに当該口座の預金者の名義で不正チャージ

8. 悪質加盟店によるプリペイドカードでの支払い要求

9. その他 ()

(問66) 1. 前払式支払手段の利用者への本人確認状況についてお聞かせください。

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

(注) 本人確認を行うことでチャージの上限金額が増えるものも含みます。

(注) 本人確認を行うことで、資金移動業のアカウントに残高が移行するものは含みません。

- (1) 利用者への本人確認を行っている
- (2) 利用者への本人確認は行わない

2. 以下は前項1. で「(1) 利用者への本人確認を行っている」を選択した方に伺います。

本人確認の具体的な方法についてお聞かせください。

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

- 1. eKYC
- 2. クレジットカード・銀行口座連携時に、連携先が本人確認していることを確認
- 3. その他 ()

3. 以下は前項1. で「(1) 利用者への本人確認を行っている」を選択した方に伺います。

本人確認を行う場面についてお聞かせください。

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

- 1. カード（バーチャルカード含む）を発行する際
- 2. アカウントを開設する際
- 3. 残高（ギフトID等を含む）を受取る際
- 4. 利用可能金額を引き上げる際
- 5. その他

(問67) 実施している不正利用防止策についてお聞かせください。

(該当番号に✓を入れてください。複数回答可)

- 1. 高額券種を発行しない、高額の入金上限を設定しない
- 2. 1回あたり、日・月単位での入金額、利用額の制限
- 3. 複数アカウントの制限
- 4. 転売・譲渡を禁止しホームページ等で周知
- 5. インターネット上での不正転売等のモニタリング
- 6. 利用時のワンタイムパスワードの導入
- 7. （高額取引の場合、）利用時の本人認証パスワードの導入
- 8. 利用時のメール・SMS通知
- 9. 利用状況・加盟店サイトのモニタリング
- 10. アクセス元、端末の認証
- 11. その他 ()
- 12. 何も実施していない

(問68) 利用者からの苦情（トラブルやクレーム等）の有無と主な内容及び対処事例をお聞かせください。（該当番号等に✓を入れてください。複数回答可）

- (1) 苦情はない
- (2) 苦情はある
 - A. 有効期限
 - B. 払戻し（お釣りを含む）や換金
 - C. 利用できる店舗・商品等
 - D. 残高の確認やその方法
 - E. 利用履歴
 - F. コールセンターや問合せ窓口の対応
 - G. システム障害
 - H. 不正利用
 - I. その他 ()

(問69) 利用者からの問い合わせ・苦情（トラブルやクレーム等）の受付方法をお聞かせください。（該当番号に✓を入れてください。複数回答可）

- 1. 電話
- 2. メール、問い合わせフォーム
- 3. チャット等
- 4. その他 ()

以上でサーバ型の質問は終わりました。

・問70へおすすみください。

(問70) 令和2年6月5日に成立した改正資金決済法が、令和3年5月1日に施行されました。改正資金決済法では、事務ガイドラインⅢ－2－1において、以下のとおり業務委託先との契約に盛り込むべき事項が規定されました。施行日以降に新規の業務委託を行う場合には変更届出書の添付書類として当該事項が含まれた業務委託契約書を提出すること、施行日以前からの既存の業務委託先については直ちに契約書を提出する必要はないものの、当該盛り込むべき事項を踏まえて契約の見直しを行うことが必要となります。

1. 既存の業務委託先との契約について、どのような方法で行ったか又は行う予定かお聞かせください。（複数選択可）

- 1. 不足事項について覚書等の締結
- 2. 新契約に差し替え
- 3. その他 ()

2. 本件の対応にあたり懸念していること、また、対応に際し大変だったことがあればお聞かせください。

その他、業務委託先との契約の見直しに関するご意見・課題等

《事務ガイドライン抜粋》

Ⅲ－2－1

(1) 発行届出書、登録申請書の受理等 自家型前払式支払手段の発行届出の受理

① 発行届出書及び変更届出書の受理に当たっては、次の事項に留意し、不適切な場合にはその是正を求めるものとする。
(中略)

ハ. 委託契約の内容について、次に掲げる事項を記載していること。

- a. 資金決済に関する法律等を遵守する旨
- b. 委託業務の範囲に関する事項
- c. 委託手数料の決定及び支払いに関する事項
- d. 委託業務の取扱いに必要な経費の分担に関する事項
- e. 営業用の施設及び設備の設置主体等

(中略)

(2) 第三者型発行者の登録申請書等の受理

① 登録申請書及び変更の届出書の受理に当たっては、次の事項に留意し、不適切な場合にはその是正を求めるものとする。

(中略)

ハ. 委託契約の内容について、次に掲げる事項を記載していること。

- a. 資金決済に関する法律等を遵守する旨
- b. 委託業務の範囲に関する事項
- c. 委託手数料の決定及び支払いに関する事項
- d. 委託業務の取扱いに必要な経費の分担に関する事項
- e. 営業用の施設及び設備の設置主体等

(問71) 令和4年3月4日に、金融庁から「安定的かつ効率的な資金決済制度の構築を図るための資金決済に関する法律等の一部を改正する法律案」が国会に提出されました。改正法案においては、「高額電子移転可能型前払式支払手段」が定義され、前払式支払手段発行者が、高額電子移転可能型前払式支払手段を発行しようとするときは、事前に業務実施計画を当局に届出なければならず、当該届出を行った者は、犯罪収益移転防止法上の特定事業者となり、取引時確認等の義務が課されることとされています。

なお、同法案に関する金融庁の説明資料の22ページに「高額電子移転可能型前払式支払手段の詳細」※が記載されております。ご参照ください。

※(参考5) 「高額電子移転可能型前払式支払手段」の実務上の対応等

<https://www.fsa.go.jp/common/diet/208/03/setsumei.pdf>

高額電子移転可能型前払式支払手段への犯収法適用に関するご意見・課題等

【参考】

安定的かつ効率的な資金決済制度の構築を図るための資金決済に関する法律等の一部を改正する法律

《抜粋》

資金決済に関する法律の一部改正（抜粋）

(定義)

第3条

1～7(略)

8 この章において「高額電子移転可能型前払式支払手段」とは、次に掲げるものをいう。

一 第三者型前払式支払手段のうち、その未使用残高（第一項第一号の前払式支払手段にあっては代価の弁済に充てることができる金額をいい、同項第二号の前払式支払手段にあっては給付又は提供を請求することができる物品等又は役務の数量を内閣府令で定めるところにより金銭に換算した金額をいう。以下この号及び次項並びに第十一条の二第一項第一号において同じ。）が前払式支払手段記録口座に記録されるものであって、電子情報処理組織を用いて移転ができるもの（移転が可能な一件当たりの未使用残高の額又は移転が可能な一定の期間内の未使用残高の総額が高額であることその他の前払式支払手段の利用者の保護に欠け、又は前払式支払手段の発行の業務の健全かつ適切な運営に支障を及ぼすおそれがあるものとして内閣府令で定める要件を満たすものに限る。）

二 前号に掲げるものに準ずるものとして内閣府令で定めるもの

9 この章において「前払式支払手段記録口座」とは、前払式支払手段発行者が自ら発行した前払式支払手段ごとにその内容の記録を行う口座（当該口座に記録される未使用残高の上限額が高額として内閣府令で定める額を超えるものであることその他内閣府令で定める要件を満たすものに限る。）をいう。

(業務実施計画の届出)

第十一条の二 前払式支払手段発行者は、高額電子移転可能型前払式支払手段を発行しようとするときは、内閣府令で定めるところにより、あらかじめ、次に掲げる事項を記載した業務実施計画を内閣総理大臣に届け出なければならない。

一～三 (略)

2 (略)

(問72) 当協会では、この「発行事業実態調査」につきまして、発行者の皆様にご協力いただき継続的に実施しております。本調査の結果は「発行事業実態調査統計」として取りまとめ、協会のホームページ等で公表しております。

発行事業実態調査についてのご意見及び調査希望項目等がありましたらお聞かせください。その他、協会事業全般に対するご意見・ご要望等も併せてお聞かせください。

協会の事業活動へのご意見ご要望等

ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。
今後も協会の事業活動にご理解をいただき、次回の調査にもご協力いただきますようお願い申し上げます。



一般社団法人日本資金決済業協会

〒102-0074

東京都千代田区九段南3-8-11

飛栄九段ビル7階

Tel 03-6272-9255 Fax 03-3556-6260

<https://www.s-kessai.jp/>